



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	522,415	6.1	14,450	△4.4	15,462	△6.5	9,381	△10.8
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		9,695百万円(△9.8%)	2025年3月期第3四半期		10,743百万円(21.8%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 錢	円 錢
2025年3月期第3四半期	100.70	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	388,940	149,253	38.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 148,064百万円 2025年3月期 149,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 錢
通期	700,000	3.2	26,000	4.9	26,500	1.8	15,500	2.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 4社 (社名) (注) 、除外 10社 (社名) (注)
(注) 詳細は、添付資料9ページ「連結の範囲または持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	94,350,134株	2025年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,331,200株	2025年3月期	7,319,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	93,159,674株	2025年3月期 3Q	94,350,170株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の持続的な改善が見られる一方で、エネルギー価格の高止まりや物価上昇の継続、円安の持続等が依然として家計や企業活動に大きく影響しており、景気の先行きには不透明感が残る状況となっております。

当社グループの属する医療業界では、引き続き現場での物価上昇や人手不足が深刻な状況である中で、高市新政権による補正予算・医療介護等支援パッケージや診療報酬プラス改定等が発表され、先行き感について少しづつ明るい兆しが出てまいりました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、連結全体としては概ね当初計画に沿った進捗となりました。また、当期は中期経営計画「SHIP VISION 2030」の初年度にあたり、「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」を基本方針として、3つの重点施策である「新規事業創出」「再編統合」「成長領域の拡大」を積極的に推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は522,415百万円（前年同四半期連結累計期間比6.1%増）、営業利益は14,450百万円（前年同四半期連結累計期間比4.4%減）、経常利益は15,462百万円（前年同四半期連結累計期間比6.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,381百万円（前年同四半期連結累計期間比10.8%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大学病院を含む大型プロジェクト案件を予定通り計上したことにより加え、医療情報系ソリューション事業の需要が拡大しました。一方で、M&A手数料等の一過性の諸費用を計上したことや、リニューアル案件の完成時期が一部後ろ倒しとなりました。また、前年同期には大型案件であるシニア向け分譲マンション竣工・販売がありましたが、本期は竣工物件が無かつたことから前年同期比では利益が減少いたしました。

この結果、売上高は89,898百万円（前年同四半期連結累計期間比3.0%増）、セグメント利益（営業利益）は4,984百万円（前年同四半期連結累計期間比24.3%減）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に稼働を開始したSPD施設の業績が堅調に推移したことにより加え、経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタートいたしました。

この結果、売上高は378,475百万円（前年同四半期連結累計期間比7.5%増）、セグメント利益（営業利益）は4,758百万円（前年同四半期連結累計期間比13.1%増）となりました。

③ ライフケア事業

介護サービス事業におきましては、物価上昇やサービス品質を維持するための設備投資等を背景に、事業運営コストが上昇いたしました。また、食事提供サービス事業におきましては、コメをはじめとする食品価格高騰の影響を受けました。

この結果、売上高は28,158百万円（前年同四半期連結累計期間比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,707百万円（前年同四半期連結累計期間比2.3%減）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模なM&Aや再編統合による経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は25,883百万円（前年同四半期連結累計期間比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3,078百万円（前年同四半期連結累計期間比20.9%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産は388,940百万円となり、前連結会計年度末と比べて7,237百万円増加いたしました。その主な要因は、「賃貸不動産（純額）」が1,723百万円減少した一方、「商品及び製品」が5,290百万円、「仕掛品」が2,827百万円増加したこと等によるものであります。

負債は239,686百万円となり、前連結会計年度末と比べて8,264百万円増加いたしました。その主な要因は、「長期借入金」が3,786百万円、「未払法人税等」が3,570百万円減少した一方、「電子記録債務」が8,050百万円、「支払手形及び買掛金」が6,649百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は149,253百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,027百万円減少いたしました。その主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が9,381百万円増加した一方、配当金の支払により「利益剰余金」が5,472百万円減少し、自己株式の取得により「自己株式」が4,999百万円増加したこと等によるものであります。なお、第1四半期連結会計期間に自己株式15,477百万円の消却を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は38.1%（前連結会計年度末比1.0ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,502	78,464
受取手形、売掛金及び契約資産	135,517	134,589
電子記録債権	6,236	7,405
商品及び製品	23,575	28,865
仕掛品	3,363	6,191
原材料及び貯蔵品	1,920	1,924
その他	11,372	12,521
貸倒引当金	△31	△26
流動資産合計	259,457	269,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,529	21,011
土地	18,162	18,200
賃貸不動産（純額）	8,080	6,357
その他（純額）	11,187	11,374
有形固定資産合計	58,960	56,943
無形固定資産		
のれん	7,414	7,015
その他	5,316	5,021
無形固定資産合計	12,731	12,036
投資その他の資産		
投資有価証券	29,381	30,059
長期貸付金	10,351	10,664
その他	14,055	12,680
貸倒引当金	△3,236	△3,381
投資その他の資産合計	50,553	50,022
固定資産合計	122,245	119,002
資産合計	381,702	388,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,667	128,316
電子記録債務	35,470	43,520
短期借入金	698	763
未払法人税等	5,932	2,362
賞与引当金	3,135	1,495
その他	21,109	23,764
流動負債合計	188,013	200,223
固定負債		
長期借入金	30,620	26,834
退職給付に係る負債	3,531	3,534
資産除去債務	1,190	1,194
その他	8,064	7,899
固定負債合計	43,408	39,463
負債合計	231,421	239,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,575	19,417
利益剰余金	120,407	112,745
自己株式	△15,527	△5,049
株主資本合計	144,008	142,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,182	5,531
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△215	△205
退職給付に係る調整累計額	99	69
その他の包括利益累計額合計	5,068	5,398
非支配株主持分	1,203	1,188
純資産合計	150,280	149,253
負債純資産合計	381,702	388,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	492,272	522,415
売上原価	446,086	476,312
売上総利益	46,185	46,102
販売費及び一般管理費	31,064	31,651
営業利益	15,121	14,450
営業外収益		
受取利息	227	204
受取配当金	190	202
持分法による投資利益	1,066	497
為替差益	63	358
その他	340	357
営業外収益合計	1,888	1,619
営業外費用		
支払利息	384	331
貸倒引当金繰入額	–	126
その他	79	150
営業外費用合計	463	607
経常利益	16,545	15,462
特別利益		
固定資産売却益	3	13
関係会社株式売却益	–	11
抱合せ株式消滅差益	–	3
その他	3	7
特別利益合計	6	35
特別損失		
減損損失	41	–
固定資産除却損	12	144
その他	32	15
特別損失合計	85	160
税金等調整前四半期純利益	16,467	15,338
法人税、住民税及び事業税	4,527	4,866
法人税等調整額	1,298	1,118
法人税等合計	5,826	5,985
四半期純利益	10,640	9,353
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	122	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,517	9,381

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	10,640	9,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270	304
為替換算調整勘定	△155	31
退職給付に係る調整額	△8	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	25
その他の包括利益合計	103	341
四半期包括利益	10,743	9,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,691	9,710
非支配株主に係る四半期包括利益	52	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータルパック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	87,245	352,223	27,621	25,182	492,272	—	492,272
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,233	1,534	36	91	3,895	△3,895	—
計	89,478	353,757	27,658	25,274	496,167	△3,895	492,272
セグメント利益	6,580	4,206	1,746	2,545	15,079	41	15,121

(注) 1. セグメント利益の調整額41百万円には、セグメント間取引消去△93百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等126百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータルパック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	89,898	378,475	28,158	25,883	522,415	—	522,415
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,484	1,217	75	104	2,881	△2,881	—
計	91,382	379,693	28,233	25,988	525,296	△2,881	522,415
セグメント利益	4,984	4,758	1,707	3,078	14,528	△77	14,450

(注) 1. セグメント利益の調整額△77百万円には、セグメント間取引消去△86百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等6百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月6日の取締役会決議に基づき、自己株式2,331,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において「自己株式」が4,999百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年6月6日の取締役会決議に基づき、自己株式7,319,266株の消却を行いました。この結果、第1四半期連結累計期間において「資本剰余金」及び「自己株式」がそれぞれ15,477百万円減少しております。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,113百万円	4,063百万円
のれんの償却額	1,368百万円	1,348百万円

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより(株)テックインターナショナルを連結の範囲に含めております。

また、キングラン㈱は、キングラン・メディケア㈱、キングラン九州㈱、キングラン北海道㈱及びキングラン関西㈱を、シップヘルスケアファーマシー㈱（シップヘルスケアファーマシー東日本㈱より商号変更）は、日星調剤㈱、グリーンファーマシー㈱、(有)スターシップ、(株)MONAKA及び(株)オーエムピー（前連結会計年度では非連結子会社）を、シップヘルスケアフード㈱はグラント・グルメ㈱をそれぞれ吸収合併しております。これらは、いずれも連結子会社間の組織再編であります。

第2四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことによりデルフィア㈱を、新たに設立したことによりマスターズフォレスト㈱を連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより(株)橋本薬局を連結の範囲に含めています。

また、シップヘルスケアエステート東日本㈱につきましては、全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。